



令和7年度学生教育研究災害傷害保険説明会

主催：公益財団法人日本国際教育支援協会





1. 制度の概要

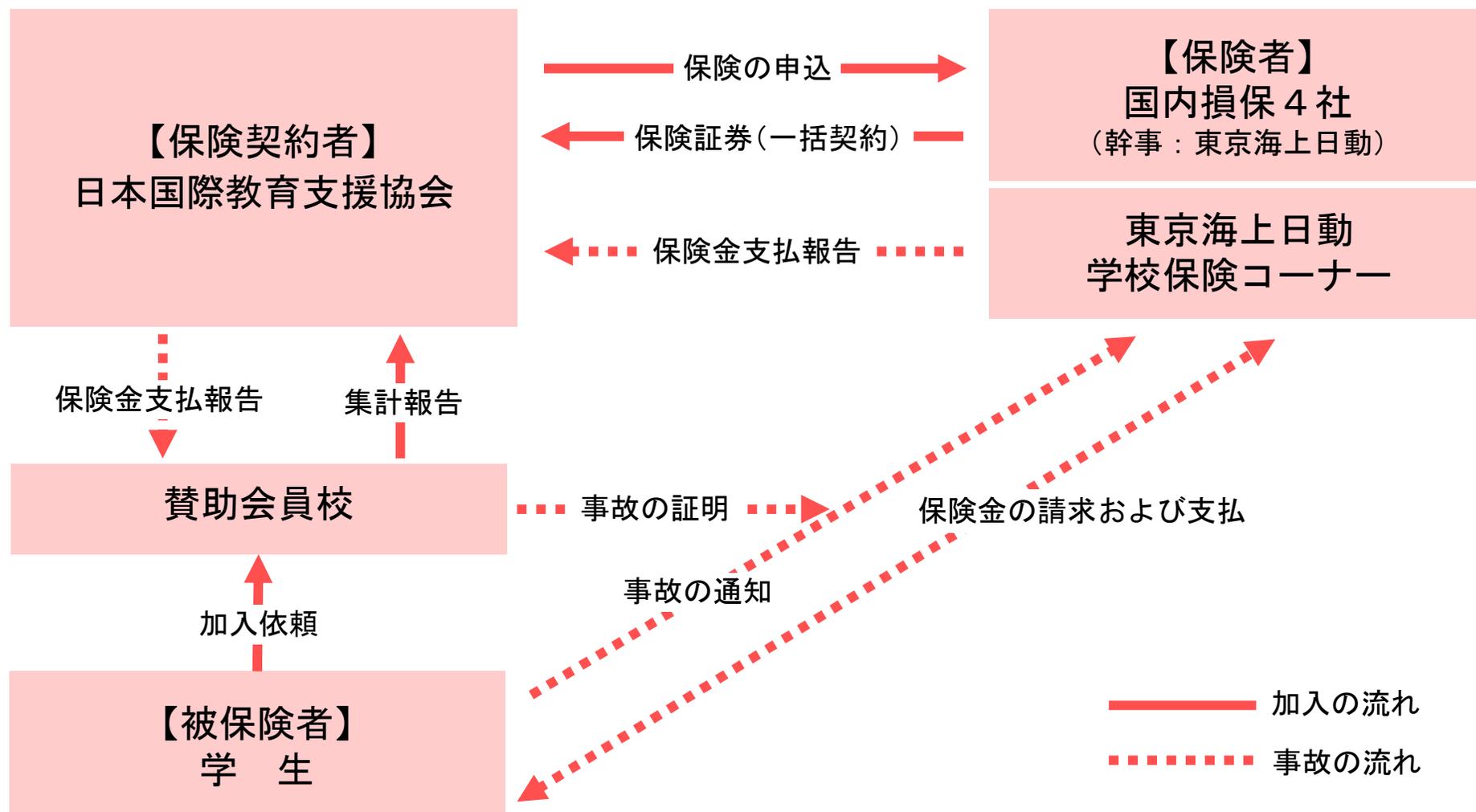
学生教育研究災害傷害保険とは、大学生が教育研究活動中に被った災害に対し必要な給付を行い、大学の教育研究活動の充実に資することを目的としています。

全国規模の互助共済的な災害補償制度について、大学関係者からの強い要望に応える形で創設された制度です。

昭和45年10月	日本学術会議が、内閣総理大臣宛「大学院生など無給研究者の研究災害補償制度の確立等について」勧告提出
昭和49年6月	国立大学協会が、文部大臣宛「正課中における学生の災害事故対策について」要望書提出
昭和50年8月	文部省設置「学生の教育研究災害補償制度に関する調査研究会」が最終報告を公表
昭和51年1月	学生教育研究災害傷害保険の特約書（保険約款）を大蔵省が認可
昭和51年4月	財団法人学徒援護会が学生教育研究災害傷害保険の制度運営を開始

学校／協会／保険会社の役割

1. 制度の概要



学研災の補償の全体像

1. 制度の概要

学研災をベースに、手厚い補償を上乗せで追加できます

学校管理・承認外の活動の事故も補償（24時間補償）

付帯学総 / インバウンド付帯学総

- ✓ 病気の治療
- ✓ 救援者費用
- ✓ 育英費用
- ✓ 生活用動産
- ✓ 借家人賠償
- ✓ メディカルアシスト



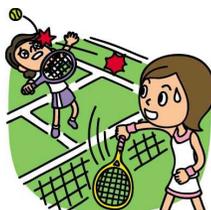
付帯海学

- ✓ 病気の治療
- ✓ 救援者費用
- ✓ 携行品損害
- ✓ 航空機手荷物・遅延
- ✓ 危機管理支援



正課・学校行事・課外活動や学校施設内での事故を補償

学研災（傷害保険）



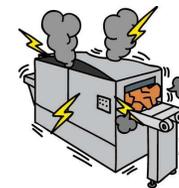
- ✓ 正課・学校行事中のけが
- ✓ 課外活動中のけが
- ✓ 学校施設内にいる間のけが

通学特約/接触感染特約



- ✓ 通学・施設間移動中のけが
- ✓ 臨床実習中の事故の接触感染予防措置

付帯賠償



- ✓ 他人に対する法律上の損害補償

学校の皆様のご協力のもと、低廉な負担で学校管理下の災害補償を実現しています

学生教育研究災害傷害保険

(略称：学研災)

1. 制度の概要

正課中、学校行事中、学校施設内にいる間及び学校施設内・外での課外活動中（クラブ活動中）における傷害事故を補償します。

また、「通学中等傷害危険担保特約（略称「通学特約」）」を付帯することにより、通学中および学校施設等相互間の移動中における傷害事故も補償します。

さらに、「接触感染予防保険金支払特約（略称「接触感染特約」）」を付帯することで、臨床実習中における針刺し事故などによる感染症予防措置に対応できます。



保険料			
区分	昼間部	夜間部	通信教育
普通保険	2,300円	400円	100円
通学特約	1,000円	1,000円	40円
接触感染特約	70円	70円	70円

保険金				
補償範囲	死亡保険金	後遺障害保険金	医療保険金	入院加算金
「正課中」 「学校行事中」	2,000万円	120万円～ 3,000万円	治療日数1日以上 3千円～30万円	1日につき 4,000円
「学校施設内」 「通学中」 「学校施設間移動中」	1,000万円	60万円～ 1,500万円	治療日数4日以上 6千円～30万円	
「課外活動(クラブ活動)中」	1,000万円	60万円～ 1,500万円	治療日数14日以上 3万円～30万円	
「臨床実習中 (接触感染特約)」	1事故につき15,000円			

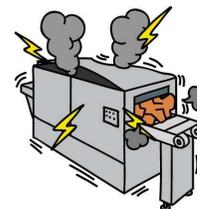
上記は、Aタイプ、4年間加入の保険料及び補償内容です。

学研災付帯賠償責任保険

(略称：付帯賠償)

1. 制度の概要

正課中、学校行事中、課外活動中またはその往復で、他人にけがを負わせたり、他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について補償します。



保険料および保険金		Aコース	Bコース	Cコース	Lコース
区分		学生教育研究賠償責任保険 (略称「学研賠」)	インターンシップ・ 教職資格活動等賠償責任保険 (略称「インターン賠」)	医学生教育研究 賠償責任保険 (略称「医学賠」)	法科大学院生教育研究 賠償責任保険 (略称「法科賠」)
対象となる 活動範囲		正課中、学校行事中、課外活動 中およびその往復	正課、学校行事または課外活動 に位置づけられるインターンシ ップ、介護体験活動、教育実習、 保育実習、ボランティア活動およ びその往復	医療関連学部・学科の正課中、 学校行事中、課外活動中およ びその往復	対人・対物賠償：法科大学院 等(法曹コースを含む)の正課 中、学校行事中、課外活動中 およびその往復
支払 限度 額	対人賠償 対物賠償	対人賠償と対物賠償合わせて1事故につき1億円 免責金額(自己負担額) 0円			
	人格権侵 害補償	—			損害賠償請求者 1名当たり 1,000万円 免責金額(自己負担額)0円
保険料 (1年間)		340 円	210 円	500 円	1,640 円



2. 事務手続きについて

事務で使用するシステム

2.事務手続きについて

学研災NAVI

(<https://www.jees.or.jp/gakkensai/daigaku.htm>)



「学研災NAVI」は、学研災事務ご担当者向けポータルサイトです。最新のお知らせ等を随時更新しておりますので定期的にご覧ください。

- ✓ 学研災事務に使用するシステムへのリンクが集約されています。
- ✓ 事務上必要となる各種様式がダウンロードできます。

学研災管理システム

(<https://www.jees-gsys.jp/>)



「学研災管理システム」は、本協会宛の加入事務手続きを行うためのサイトです。

- ✓ 加入させる学部・コース等の登録、集計報告・異動の申請等は全てオンラインで行えます。

学研災帳票申込サイト

(<https://jees-prt.jp/gakkensai/user>)



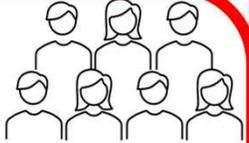
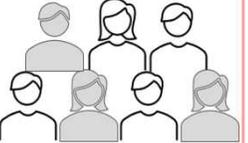
「学研災帳票申込サイト」は、学内配付用の印刷物帳票の受注用サイトです。

- ✓ 加入学生に配布する「加入者のしおり」(保険証券の代わりとなる)、制度周知用のチラシ・パンフレット等をお申込みいただけます。(費用はかかりません)

加入形態について

2.事務手続きについて

学校は、学生の加入を取りまとめる方法として「全員加入」または「任意加入」を選択できます。本制度の趣旨から、出来る限り全員加入での加入をお願いしています。

	全員加入 	任意加入 
加入形態	原則、大学院の研究科、大学の学部、短期大学及び高等専門学校の学科の1学年以上の加入単位で所属する学生全員を加入させる	学校が個別に学生の申込を受け加入させる
学校機関での決議等	必要	不要
保険始期	保険加入日として決議した日が学生全員の保険始期となる。 (始期は決議日時より遡ることはできません)	学校において申込を受け、保険料を受領した翌日の午前0時
加入者名簿の提出	不要	必要

加入の手続きについて

2.事務手続きについて

学研災・付帯賠償に学生を加入させるには、賛助会員校が学研災管理システムにて加入情報を登録後、保険料を本協会に送金いただきます。

学研災・付帯賠償共通

学部情報の登録

- ・加入形態を選択(全員加入・任意加入)
- ・加入タイプ・コースを選択、特約の有無を選択



集計報告、加入者名簿(任意加入のみ)を登録



見積書兼請求書を作成し、提出(加入申請完了)



協会の承認後、見積書兼請求書をダウンロードし、保険料を協会へ送金



手続き完了



異動の手続きについて

2.事務手続きについて

加入学生に異動が生じた場合は学研災管理システムにて契約内容変更(異動)の申請を行ってください。特に保険料の返還等を伴うものについては速やかにご対応をお願いします。

<異動の申請が必要な場合>

種別	内容
退学	退学時に保険残期間が1年以上ある場合、年単位で保険料を返還します。
休学※	保険期間中に通算して1年以上の間休学した場合、当該期間に係る保険料を返還します。(手続きは休学期間が終了・復学し期間が確定した後に願います)
コースの変更(付帯賠償)	現在のコースを解約し、新しいコースへの加入手続きをしてください。保険残期間が1年未満の場合、年度途中の解約に伴う保険料の払い戻しはありません。
その他	転部転科、昼夜間等の変更、改姓など

※ 休学中も学研災の保険契約は有効で、万一休学中、学校管理下の活動として面談等で登校する際事故に遭った場合も補償を受けることができます。

事故時の手続きについて

2.事務手続きについて

学 研 災

付 帯 賠 責

1. 事故通知

学生が学校に事故を報告し、東京海上に事故通知を行う。

SkettBook、はがき、FAX、事故通知システム

電話、FAX

2. 保険金請求書の作成・送付

学校は学生に「保険金請求書類」を渡し、保険加入・事故等の証明を行う。学校または学生が東京海上に書類を郵送する。

SkettBookの場合、学校は学生が申告した事故事実を確認し、東京海上のメールに返信。

3. 保険金支払い

東京海上が保険金を支払い。

4. 保険金支払い報告

協会から「保険金請求書の保険金支払報告書類」を学校に送付。

学生は東京海上から支払通知はがきを受領。
アプリ版SkettBook経由の場合は保険会社から支払完了メールを送信。

東京海上が学生または学校に電話もしくは通知はがきを送付。



3. 学研災付帯の各保険について

学研災付帯学生生活総合保険

(略称：付帯学総)

付帯学総は、学研災・付帯賠償の上乗せとして、学研災加入者が任意に加入できる保険です。

学研災では対象外である日常生活の事故や疾病治療も対象としており、学生生活を幅広く補償します。

付帯学総の賠償責任補償には、示談交渉が自動でセットされているほか、天災危険補償特約を標準付帯しており、地震・津波等の災害に直接起因する事故におけるけが等も補償されます。

3.学研災付帯の各保険について

補償内容・保険料(例)

※感染予防費用は医療学部生のみ

ご加入タイプ	自宅から通学の学生 <small>一人暮らしの方もご加入いただくことが可能です。</small>			一人暮らしの学生		
1 個人賠償責任	1事故 国内:1億円 国外:1億円 限度			1事故 国内:1億円 国外:1億円 限度		
2 死亡・後遺障害	ケガ	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円
3 治療費用(入院・通院)	ケガ	治療費用実費	治療費用実費	治療費用実費	治療費用実費	治療費用実費
	病気	医療機関の窓口で自己負担した費用を補償			医療機関の窓口で自己負担した費用を補償	
4 救護者費用等	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円
5 感染予防費用	50万円	50万円	50万円	50万円	50万円	50万円
6 育英費用	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円	100万円
	100万円	100万円	対象外	100万円	100万円	対象外
	100万円	対象外		100万円	対象外	
7 生活用動産	対象外	対象外	対象外	50万円	50万円	50万円
8 借家人賠償責任	対象外	対象外	対象外	300万円	300万円	300万円

保険料(卒業までの一括払)	天災危険補償特約あり					
	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ	Eタイプ	Fタイプ
2032年3月卒業予定者(6年間分保険料)	128,710円	63,790円	53,950円	136,970円	72,050円	62,210円
2031年3月卒業予定者(5年間分保険料)	101,580円	55,020円	47,960円	108,920円	62,360円	55,300円
2030年3月卒業予定者(4年間分保険料)	74,410円	43,630円	38,980円	80,400円	49,620円	44,970円
2029年3月卒業予定者(3年間分保険料)	50,570円	32,680円	29,980円	55,160円	37,270円	34,570円
2028年3月卒業予定者(2年間分保険料)	30,450円	22,230円	20,980円	33,660円	25,440円	24,190円
2027年3月卒業予定者(1年間分保険料)	14,450円	12,310円	11,990円	16,290円	14,150円	13,830円

付帯学総

3.学研災付帯の各保険について

学内で同時にご案内されることが多い他制度との比較

- ✓ 学研災との補償の重複を最小限とした学研災の上乗せ制度で、学校単独では実現が困難なスケールメリットを享受(団体割引▲30%)。
- ✓ けがだけでなく、病気による通院での治療費も1日目から補償可能

各制度同等プラン比較

	付帯学総	制度A	制度B
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 病気の通院治療が1日目から実費補償される ✓ スケールメリットあり/卒業までの一括加入で負担が抑えられている 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学内に店舗があり手続・相談が便利 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 感染症対応の補償があり看護系学部にてご案内されることが多い
補償(例・抜粋)			
死亡	100万円(けが) ※学校管理下の事故は学研災で補償 (Aタイプ:最大2000万円)	100万円(病気・けが共通) +50万円(事故の場合)	30万円(病気)、475万円(けが)
治療費用	治療費用実費(けが・病気) ※入通院(1日目から補償) ※地震・津波等のけがも補償	入院日額 10,000円(けが・病気) 通院日額 2,000円(けが) ※地震・津波等のけがも補償 ※精神疾患受診時1万円(年1回限度)	入院日額5,200円 通院日額4,200円 ※地震・津波等のけがは対象外
個人賠償	1事故1億円限度(国内外) ※示談交渉付(国内のみ)	1事故3億円限度(国内外) ※示談交渉つき(国内のみ)	1事故1億円限度(国内外) ※示談交渉つき
救援者費用	100万円	10万円まで	—
育英費用	100万円	親・扶養者が死亡/重度障害となった場合 50万円(病気・事故) 扶養者が死亡/重度障害となった場合 500万円(事故)	—
保険料(4年間)	38,890円	64,800円	36,000円

付帯学総加入の学生向け **メディカルアシスト**について（自動セット・無料付帯）

〈サービス概要〉

- ✓ 24時間365日利用可能な医療相談電話窓口
- ✓ 電話窓口には専門医が常駐しているため、症状に応じた的確なアドバイスが可能
- ✓ 緊急医療相談・予約専門医相談・医療機関案内等のサービスをご提供

無料
付帯

メディカルアシスト 24時間365日対応

こんな時どうすればいい？あなたがお困りの際、お電話にて
医療に関する相談に応じます。

旅行先での急病！
最寄りの病院を知りたい

医療機関案内

急に激しい頭痛。
どうしたらいいの…

緊急医療相談



外国人留学生向け 学研災付帯学生生活総合保険

3.学研災付帯の 各保険について

(略称：インバウンド付帯学総)

インバウンド付帯学総は、学研災に加入中の外国人留学生(インバウンド留学生)が、より安心して日本での留学生活を送れるように、大学関係者や学生の皆様からのご要望に応じて創設されました。

補償内容は付帯学総と同様、日常生活での事故やけが・疾病治療、地震・津波等の災害に直接起因する事故におけるけが等が対象となります。また、加入保険期間は実際の留学期間に合わせて柔軟に設定可能です。

制度案内のパンフレットは英語・中国語・韓国語・ベトナム語版を用意しています。

補償内容・保険料(例)

		留学期間3か月超の 留学生用	留学期間3か月以内の 留学生用
保険金額	賠償責任	1事故 1億円限度(国内・国外)	
	死亡・後遺障害	100万円	
	救援者費用	300万円	
	治療費用	実費	
	傷害定額(入院日額)		5,000円
	(通院日額)		3,000円
保険料	保険期間 1か月まで		2,240円
	3か月まで		4,060円
	6か月まで	8,060円	
	1年間	11,500円	
	2年間	20,130円	
	4年間	37,410円	

保険期間は1か月単位で留学期間に合わせて設定できます。

- ✓ 国保加入義務要件に満たない短期留学生向けの保険としても有効です。
- ✓ 留学生の受入環境整備の一環として、万一の事故時に受けられる補償水準を揃えるため、留学生全員加入を選択いただくことをおすすめします。



インバウンド付帯学総

3.学研災付帯の各保険について

インバウンド留学生向けトータルサポートサービス (TSS-I) について(オプション)

- ✓ 外国人留学生の不安を解消し、大学・担当教職員の皆様の業務や心理的な負担を軽減
- ✓ 医療相談、医療機関検索・予約代行、医療通訳の提供を行います

※TSS-Iは東京海上インターナショナルアシスタンス (INTAC) 社が提供するサービスです。

東京海上インターナショナルアシスタンス
TSS-I Total Support Service for Inbound

外国人留学生への支援強化で、国際的に選ばれ続ける大学に。

留学生が医療で困ったとき、ちょっとしたことでも、緊急時でも、多言語で支援を受けられます。

外国人留学生向け **トータル医療サポート** サービス

平常時対応

- 日本国内での受診に関する各種相談・質問受付
- 医療機関に関する情報提供や問合せ・予約サポート
- 医療機関・薬局・保健所等での電話医療通訳

緊急時対応

- 入院患者の母国への帰国手配
- 母国へのご遺体搬送
- 日本国内での火葬および母国へのご遺体搬送

01 利用ケース紹介

「近くに英語で受診できる病院があるか分からない」
「予約を取りたくて電話をしたけど、言葉が通じない」

受診に関する相談受付や病院予約・問合せサポートを**多言語**でもらえる

02 利用ケース紹介

医療機関・薬局・保健所等で**電話医療通訳**を利用可能

「病院に来たけど言葉が通じない」
「通訳についてきてほしいと友達には頼みづらい」

03 利用ケース紹介

「病院に緊急入院となり、長期入院になりそうなので一度帰国したい」
「本人が亡くなってしまったが遺体を母国に搬送したい」

緊急時にも**安心のアシスタンス**が受けられる

ご利用いただくメリット

- 学校法人
 - 手厚いサポートによる留学生や保護者への**訴求力アップ**
 - 病院同行や相談対応などの**職員負担軽減**
- 留学生
 - 早期に気軽に相談・受診できることで**重症化を予防**
 - 万が一の緊急事態**発生に備えられる

対応可能言語

英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、ミャンマー語、フランス語 etc



	一括加入 (50名以上)		任意加入
月額料金 (人/税別)	980 円	1,080 円	1,310 円
対応言語	2 言語 英語・中国語	5 言語 英語・中国語・韓国語 ベトナム語・ネパール語	32 言語
対応時間	24 時間 365 日		

3.学研災付帯の 各保険について

学研災付帯海外留学保険 (略称：付帯海学)

補償内容・保険料(例)

付帯海学は、海外派遣留学生向けの補償制度で、原則として学校において承認された留学プログラム等の参加学生をまとめて加入対象とする制度です。

付帯海学は、学研災の補償を活かした海外旅行保険となっており、付帯学総・インバウンド付帯学総制度と同様に、全国制度とすることで本制度採用校全体のスケールメリットを享受できます。

スリムプラン

保険金額	傷 害 死 亡	300万円
	傷 害 後 遺 障 害	300万円
	治 療 ・ 救 援 費 用	5,000万円
	疾 病 死 亡	300万円
	携 行 品 損 害	10万円
	賠償責任/ 留学生賠償責任	1億円

保険料	保険期間 7日まで	2,520円
	14日まで	4,050円
	31日まで	6,280円
	3か月まで	17,530円
	6か月まで	39,550円
	1年まで	83,680円

基本プラン

保険金額	傷 害 死 亡	1,000万円
	傷 害 後 遺 障 害	1,000万円
	治 療 ・ 救 援 費 用	1億円
	疾 病 死 亡	1,000万円
	携 行 品 損 害	20万円
	賠償責任/ 留学生賠償責任	1億円
航空機寄託手荷物	3万円	
航空機遅延	付帯あり	

保険料	保険期間 7日まで	3,450円
	14日まで	5,310円
	31日まで	8,220円
	3か月まで	21,130円
	6か月まで	46,800円
	1年まで	98,330円

拡充プラン

保険金額	傷 害 死 亡	1,000万円
	傷 害 後 遺 障 害	1,000万円
	治 療 ・ 救 援 費 用	無制限
	疾 病 死 亡	1,000万円
	携 行 品 損 害	20万円
	賠償責任/ 留学生賠償責任	1億円
航空機寄託手荷物	3万円	
航空機遅延	付帯あり	

保険料	保険期間 7日まで	3,710円
	14日まで	5,740円
	31日まで	8,840円
	3か月まで	23,180円
	6か月まで	51,680円
	1年まで	108,850円

※令和7年度の補償内容・保険料(例)となります。

付帯海学

3.学研災付帯の 各保険について

東京海上日動の付帯海学／海外旅行保険専用の**危機管理サービス**である **採用大学:約200校**
海外留学生トータルサポートサービス(TSS)で、留学生の皆様にご安心と安全をお届けします。
※TSSは東京海上インターナショナルアシスタンス(INTAC)社が提供するサービスです(オプション)。

こんなお困りごとは、TSSが解決します！



留学生から日々来る**多様な相談対応**が大変...

保険の使い方を、直接**渡航前の学生に説明**してほしい

過去留学生**トラブルに対処する術**がなく苦労した...

TSSの3つの特徴

- ① **保険との連動**
 - 全ての相談窓口がTSS専用回線に一本化
 - 保険の事故対応もTSS回線で対応可
- ② **大学との密な連携**
 - 相談内容は全て大学へ報告、トラブル内容詳細を把握可。必要に応じて一緒に対応。
- ③ **相談しやすい窓口**
 - 海外経験のあるバイリンガル日本人が対応
 - LINE電話で問い合わせが可能

TSSのサービス内容

海外生活相談サービス



日常のお困りごと相談

各種トラブルに関するサポート

専門医電話相談 (要予約)

海外救援サービス



緊急脱出サービス

現場急行サービス

ガードマン派遣・弁護士紹介

大学支援サービス



入電内容の全件報告

渡航前オリエンテーション支援

安否確認アプリ提供 (オプション)

料金体系

留学生1人/1日あたり

73円 (税込)

付帯海学webシステムと
連動した支払い手続きが可能*

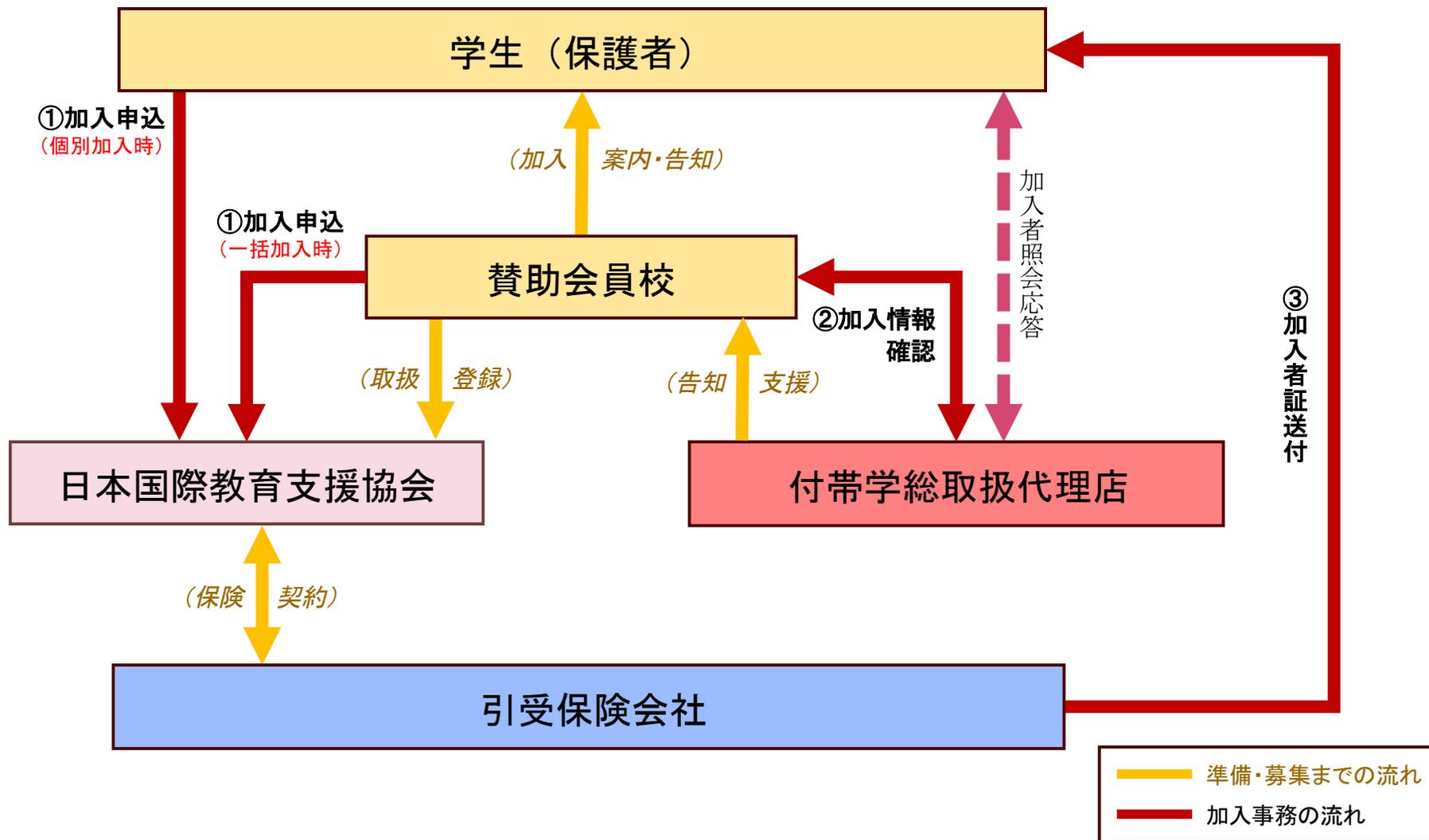
入会金・年会費は不要！

*学生負担の場合のみ。大学負担の場合は請求書払い

各付帯保険の事務手続きについて

3. 学研災付帯の各保険について

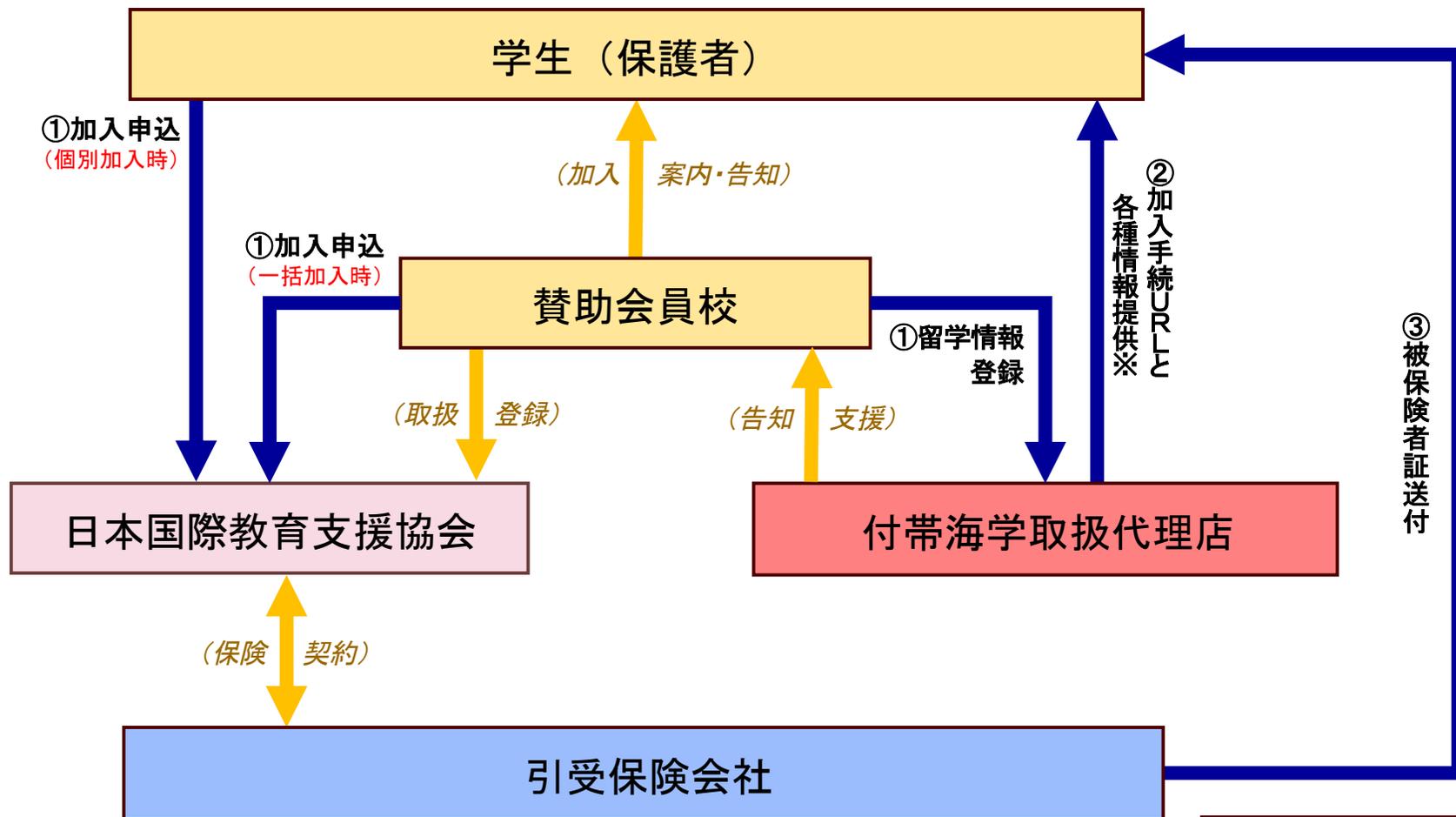
付帯学総・インバウンド付帯学総共通



各付帯保険の事務手続きについて

3. 学研災付帯の各保険について

付帯海学



※Web加入の場合。郵便振込の場合、別途必要書類を提供。





4. 令和6年度 学研災の概況

学研災の加入状況



表データ
p.8,9,11,12,32,33,34

【各保険の取扱校数と加入学生数】

	学研災	通学特約	接触感染特約	付帯賠償	付帯学総	インバウンド	付帯海学
取扱校数	1,072	1,039	357	1,031	809	381	498
加入学生数(人)	2,835,661	2,428,113	281,699	1,664,170	214,387	36,651	49,516

令和7年3月31日現在

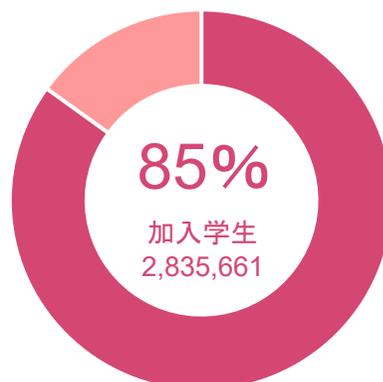
【賛助会員校数と加盟率】



※学校総数:1,174

■ 賛助会員校 ■ 未加入校

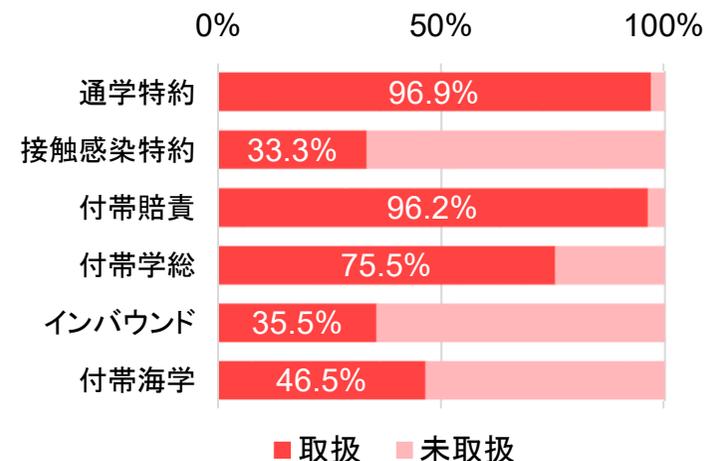
【学研災加入学生数と加入率】



※全学生数:3,336,111

■ 加入学生 ■ 未加入学生

【取扱校の割合】



学研災事故の状況～事故件数の推移

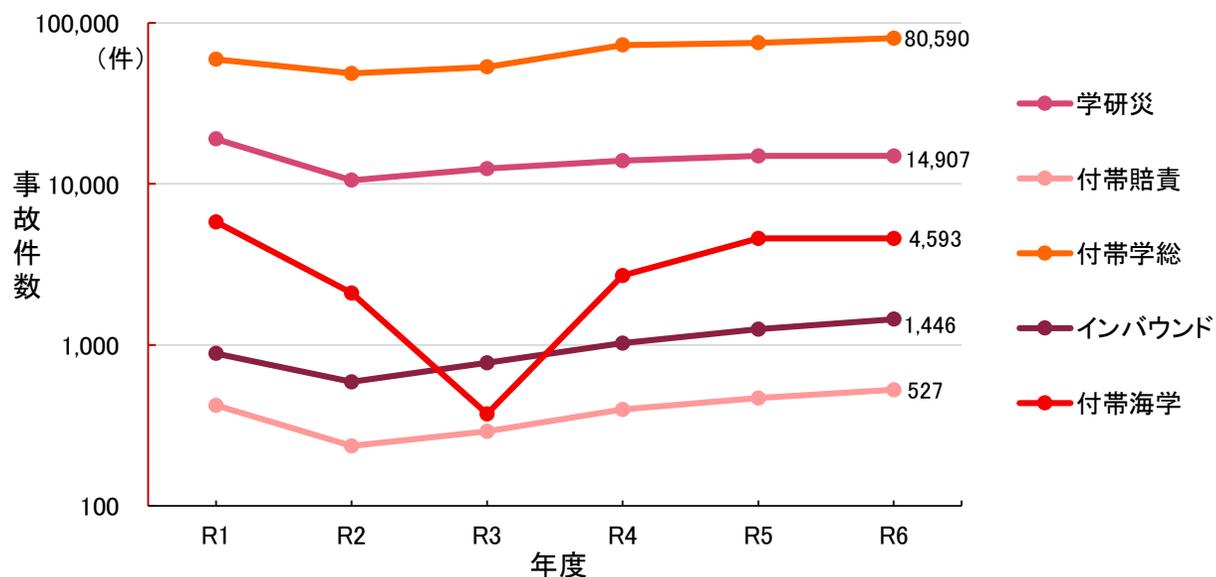


表データ

p.17,26,32,33,34

【事故件数の推移】

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	前年度比
学研災	19,037	10,552	12,481	13,971	14,914	14,907	100%
付帯賠償	422	236	291	398	468	527	113%
付帯学総	59,706	48,683	53,417	72,971	75,558	80,590	107%
インバウンド	886	591	774	1,027	1,252	1,446	115%
付帯海学	5,814	2,099	373	2,697	4,591	4,593	100%



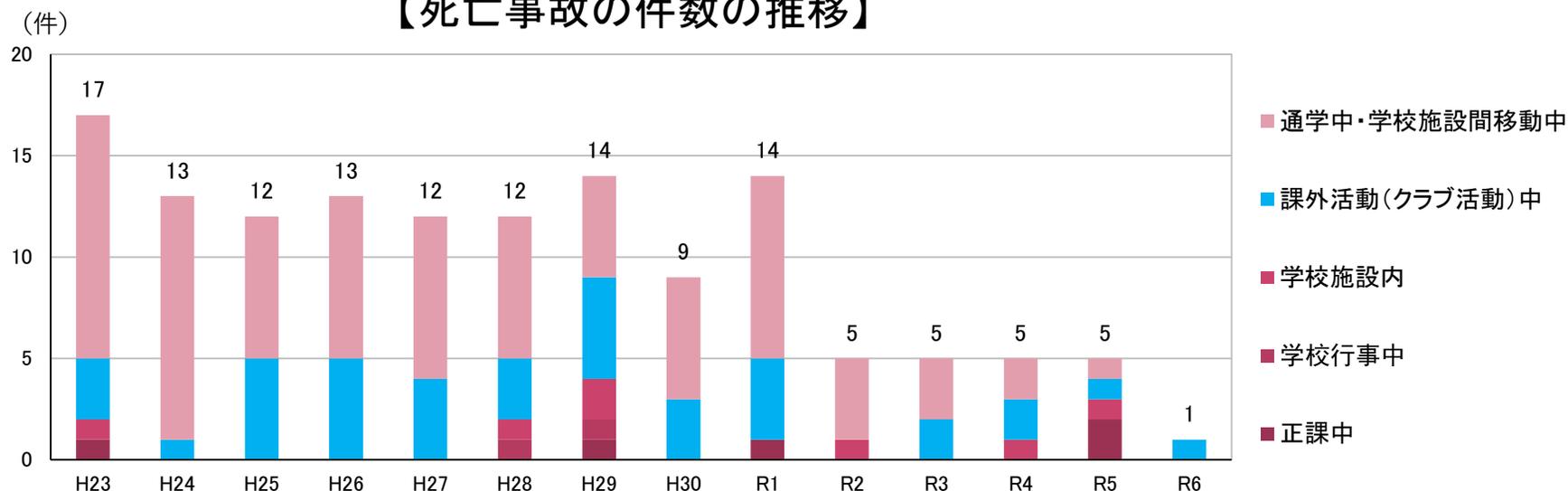
✓ 直近数年は、いずれの保険種別においても、事故件数が増加傾向



表データ
p.17,24

学研災の重大事故～死亡事故

【死亡事故の件数の推移】



事例はp.36 No.1

NO	活動形態	事故内容	支払保険金
1	課外活動中	ラグビーの試合中、タックルで接触した際、頭部を強打して緊急搬送され、入院15日後に急性硬膜下血腫により 死亡 した。	609万円

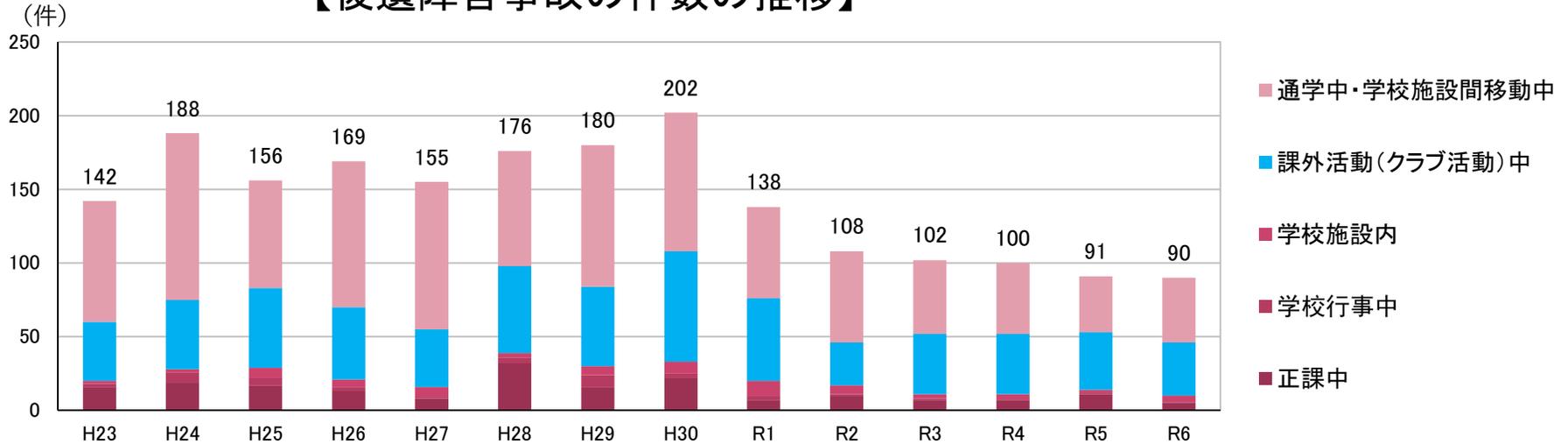
※ R6年度中は上記の他、課外活動中の死亡事故が2件(山岳部、ボードセーリング部)発生しています。
(保険金支払がR7年度のため、6年度統計巻末事例には未掲載)

学研災の重大事故～後遺障害事故



表データ
p.17,24

【後遺障害事故の件数の推移】



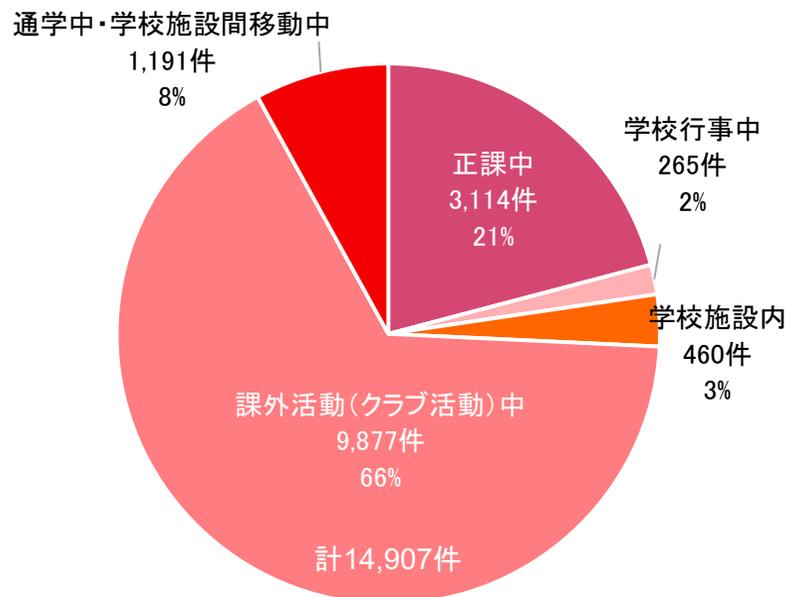
他の事例はp.36～
No.2～33参照

NO	活動形態	事故内容	支払保険金
3	正課中 (理系実験)	アガロースゲルを作成する実験で、突沸した溶液がかかり、顔面と頭部の広範囲に熱傷。外貌に著しい醜状を残す後遺障害を負った。	1,263万円
5	学校施設内	帰宅のため大学施設内を自転車で走行中、対向車のハイビームで路上障害物が見えず転倒。顔面創傷、骨折等で外貌に相当程度の醜状を残す後遺障害を負った。	393万円
9	課外活動中	体操部の練習中、鉄棒から落下し、胸椎骨折。脊柱に運動障害を残す後遺障害を負った。	513万円
21	通学中	駅ホームで出発した電車と接触し、脳挫傷。神経系統の機能に著しい障害を残し、常に介護を必要とする後遺障害を負った。	1,602万円
22	通学中	原付で帰宅中、ワゴン車と正面衝突し、急性硬膜下血腫、下顎骨折。神経系統の機能に著しい障害を残し、随時介護を必要とする後遺障害を負った。	1,437万円
27	通学中	自転車で通学中、坂を下る際自転車が滑り顔面から転倒、顔面擦傷、上肢挫創等。外貌に相当程度の醜状を残す後遺障害を負った。	393万円

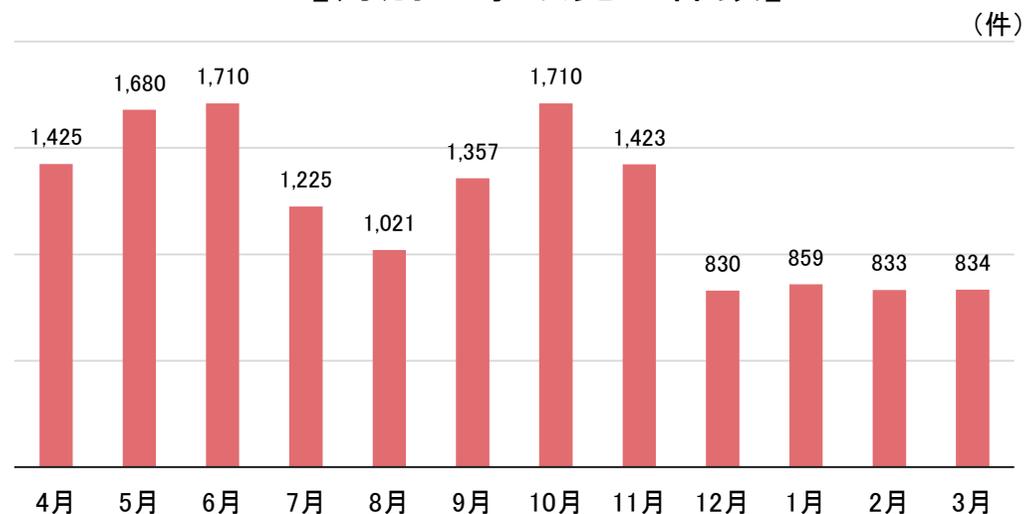
学研災事故の状況～活動内容と発生時期

表データ
p.20,21

【活動形態別の事故件数比率】



【月別の事故発生件数】



- ✓ 活動形態別では、課外活動中の事故が最も多く、事故は年度初めと秋に多く発生

他の事例はp.39～
No.34～152参照

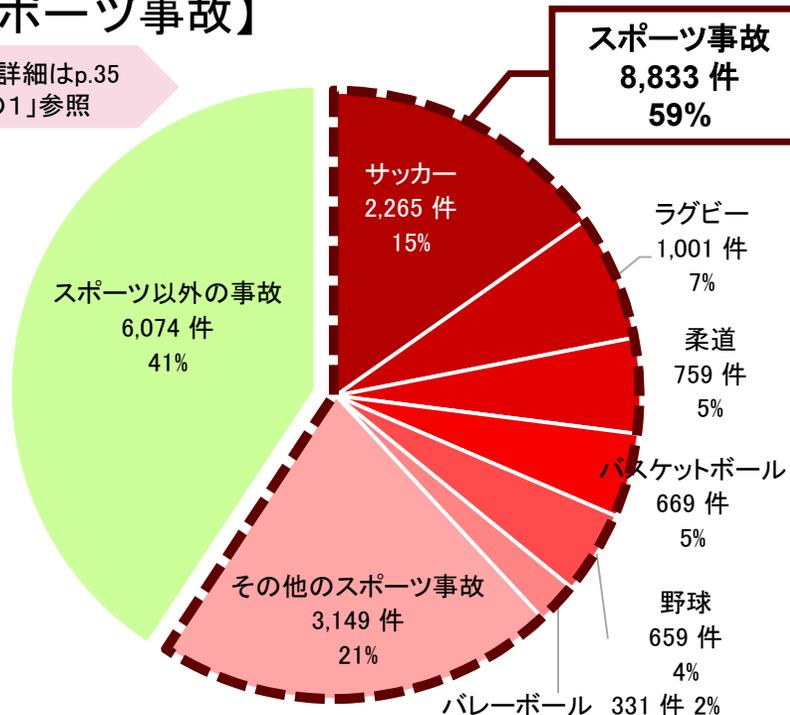
NO	活動形態	事故内容	支払保険金
49	正課中	細胞凍結の実験で、細胞を液体窒素で凍結させるときに、液体窒素に指を入れてしまい火傷。	2万円
62	正課中	能登半島地震の木造家屋被害調査のため自動車にて移動中、車両同士の衝突事故で負傷。	8万円
72	学校行事中	福島県南相馬市でボランティア活動中、荷降ろし作業時に車が発進して、足をひかれた。	8万円
80	学校施設内	学校施設内で ブヨに脚を刺されて 一次性ネフローゼ症候群発症。	19万円
148	課外活動中	テニスの試合直後、全身痙攣を起こし救急搬送され、 熱中症 と診断された。	1万円

学研災事故の状況～スポーツ事故、通学中の事故

表データ
p.35

【スポーツ事故】

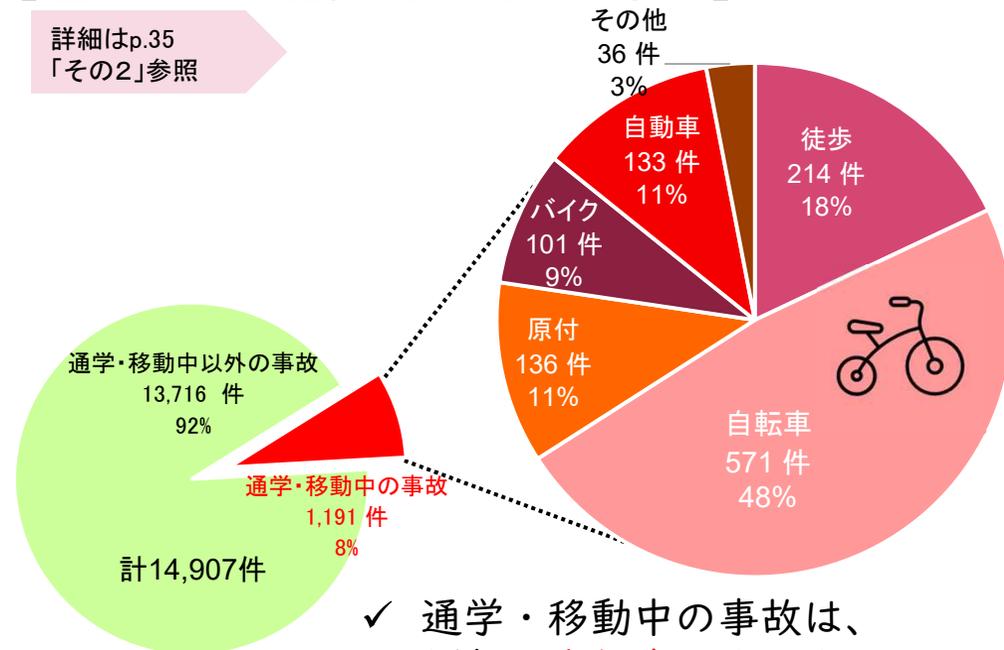
種目詳細はp.35
「その1」参照



✓ **スポーツ活動中の事故が全体の6割**

【通学・学校施設間移動中の事故】

詳細はp.35
「その2」参照



✓ **通学・移動中の事故は、例年、自転車によるものが半分を占める**

スポーツ事故の事例はp.42～
No.90～111参照

通学・移動中の事例はp.43～
No.112～130参照

NO	活動形態	事故内容	支払保険金
42	正課中	ソフトボールの授業中、打球が右目に当たり外傷性網膜剥離。	16万円
102	課外活動中	サッカーの試合中、背後から体をぶつけられバランスを崩し、膝を負傷	30万円
114	通学中	原付で通学中、優先道路走行中も一旦停止を無視して侵入した車にぶつかられ、全身打撲	24万円
126	施設間移動中	キャンパス間を自転車移動中、歩道の段差でハンドルを取られみぞおちを打撲、外傷性肝損傷	7万円

最近の道路交通法の改正について①

- 交通事故は、死亡・後遺障害等重大な事故につながります。通学特約にもれなく加入下さい。
- 道交法改正の動きに十分留意いただき、学内での安全啓発をよろしくお願いいたします。

最近の道路交通法の改正

R5年4月1日～ 自転車のヘルメット着用努力義務化

R5年7月1日～ 特定小型原動機付自転車の交通方法等に関する規定が施行、自賠責加入義務化

R6年11月1日～ **自転車運転中の新たな罰則追加(運転中のながらスマホ、酒気帯び運転)**

自転車のながら運転の罰則強化と、飲酒運転について、従来酒酔い運転のみ処罰対象であったものについて、一般車両と同様に酒気帯び運転についても処罰対象化。

ペダル付き原動機付自転車の定義の明確化

電動アシスト自転車とペダル付き原動機付自転車の区分を明確にし、「モペット」と呼ばれる電動モーターなどで自走するペダル付きの二輪車について、運転のルールや違反の規定を原付バイクなどと同じ扱いとなった。



モペット	電動アシスト自転車
(運転免許証) 必要	(運転免許証) 不要
(道路交通法) 原動機付自転車 ※歩道、路側帯、自転車道の走行不可	(道路交通法) 軽車両 ※あくまでも自転車の取り扱い
ペダルをこがなくても原動機だけで走行可能	ペダルをこがないと前に進まない
ヘルメット着用、ナンバープレート等の装着、自賠責保険加入が必須、軽自動車税が毎年必要(排気量により2,000円又は2,400円)	時速24キロに達するとアシスト機能が切れる

最近の道路交通法の改正について②

R8年4月1日～ 自転車の交通違反に対する交通反則通告制度(青切符)による取り締まり開始



自動車関係事故の高止まりと法令違反が多いことを背景に、自転車を含む軽車両は対象外であった以下の違反行為の反則告知(主なもの)について、令和8年4月から軽車両も対象とする関係法令施行の方針である旨警察庁より発表されています。

既に自動車等の反則行為とされている違反行為

軽車両に固有の違反行為

違反行為	罰則	反則金	違反行為	罰則	反則金
携帯電話使用等(保持)	6月以下の懲役又は10万円以下の罰金	12,000円	被側方通過車義務違反 (側方通過時の自転車等による違反)	5万円以下の罰金	5,000円
信号無視	3月以下の懲役又は5万円以下の罰金	6,000円	自転車制動装置不良(ピスト自転車等)		
通行区分違反(逆走、歩道通行等)			並進禁止違反	2万円以下の罰金又は料料	3,000円
指定場所一時不停止等			5,000円		

「学研災(傷害保険)」と「付帯賠償」の交通手段別の補償の可否

	自転車(電動アシスト含む)	自動車・バイク・原付・モペット	キックボード等	
			人力	特定小型原動機付自転車
自身のけが (学研災※)	○:対象	○:対象	○:対象	○:対象
他人のけが (付帯賠償)	○:対象	×:対象外 (自賠償加入義務)	○:対象	×:対象外 (自賠償加入義務)



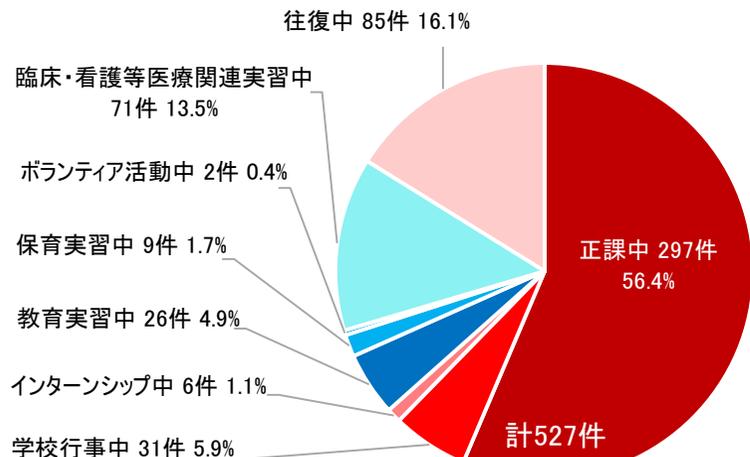
※学研災では通学中・施設間移動中の事故への補償については特約加入が必要。付帯賠償は往復中も補償対象。ただし、学校が通学手段として禁止している場合はいずれも対象外となります。

付帯賠償の事故について

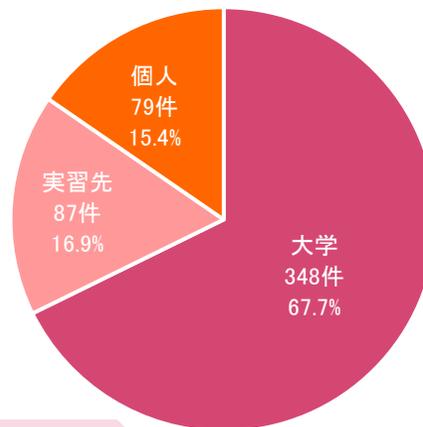
表データ

p.27,35

【活動形態別の事故件数比率】 【対物賠償事故の賠償相手方】



他の事例はp.46～
No.1～42参照



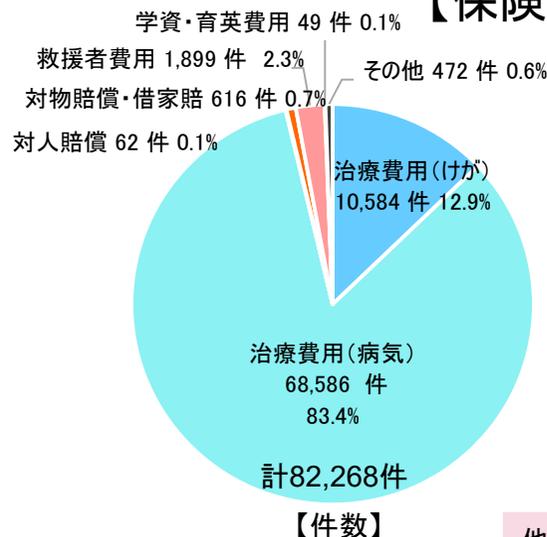
- ✓ 正課・学校行事・往復中の事故が7割を占める。実習中の事故は約2割で、医療実習時が最も多い
- ✓ 大学が相手方の機器破損等の賠償事故の比率が高い
詳細はp.35「その4」参照
- ✓ **自転車事故**での賠償事故で、保険金が高額となった事例あり
詳細はp.35「その3」参照

NO	活動形態	事故内容	支払保険金
1	正課中	実験中にプレス機の工具に試料が凝着し、工具が取れなくなり、機械と工具を破損。	833万円
21	インターンシップ中	滞在型地域活動プログラムに参加した際、宿泊先のお風呂に入る時に、扉が開きにくかったため無理に開けたらガラスが割れた。	3万円
23	教育実習中	母校の中学校での研修の際、駐車場に停めていた自転車が倒れて、車の運転席ドアに線状痕をつけてしまった。	13万円
30	臨床医療実習中	脊椎手術用のナビゲーションシステムを適切な位置に移動する際、手術室の配線コードに引っ掛かり倒してしまい破損。	700万円
35	往復中	自転車 で通学中、商店街で前の歩行者を避けて追い越そうとしたところ、歩行者も同じ方向に避けたために衝突し、歩行者は骨折、頭部打撲等し、救急搬送され入院。	605万円
41	正課中(海外)	タイで調査活動中、三脚を使用して3Dスキャナーで360度スキャンしていたところ、足場が斜面で不安定であったため倒してしまい機材を破損。	130万円

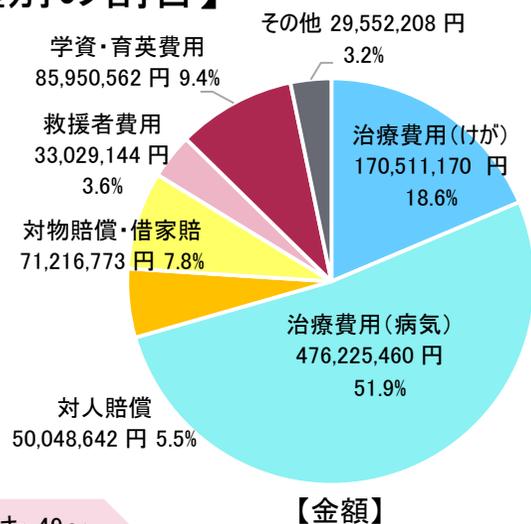
付帯学総の事故について

表データ
p.32

【保険金種別の割合】



他の事例はp.49～
No.1～105参照



✓ 学校管理外の活動や**病気治療**も補償されるため、学研災の各保険の中で支払件数・金額とも最大

✓ 扶養者の万一の際の学資・育英費用の補償は、緊急時の学業継続のための奨学金の役割

学資・育英費用の事例はp.51
No.74～85参照

✓ **自転車での賠償事故で、保険金が極めて高額となった事例あり**

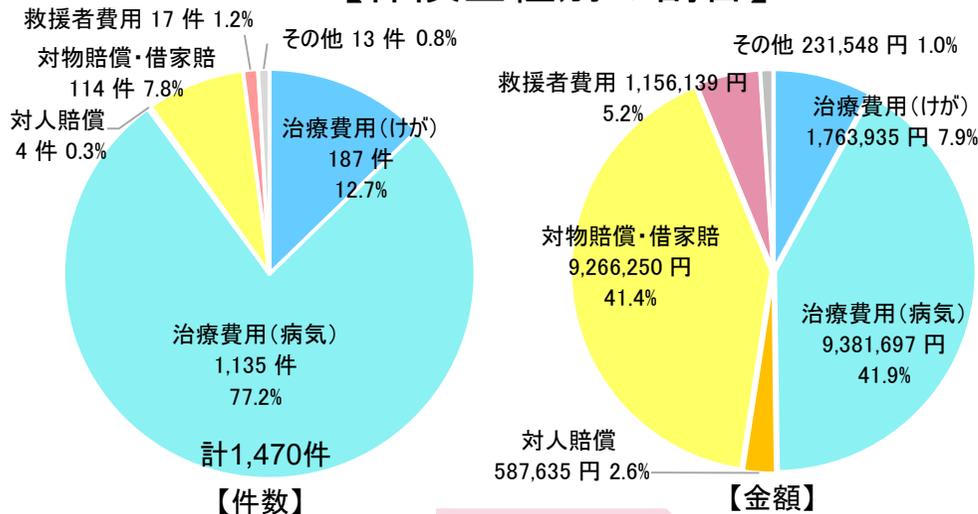
NO	保険金種別	事故内容	支払保険金
1	死亡	国道の交差点を深夜に横断中、走行してきた乗用車にはねられ、死亡。	300万円
4	後遺障害	自主練習で下宿周りを走っていたところ、車とぶつかる。脊椎の変形障害残存。	45万円
22	治療費用(病気)	T細胞性急性リンパ性白血病。実習の採血で異常が発見され、入院治療を要した。51日入院。	86万円
39	対人賠償	自転車で、停止中の相手方自転車に前方不注意で衝突。相手後遺障害残存。	2,470万円
53	対物賠償	友人の別荘へ遊びに行った際、たばこの火をきちんと始末せず外出。その間に灰から出火。別荘を半焼させた。	173万円
76	学資・育英費用	扶養者が肺炎で死亡。	693万円
87	生活用動産	洗面所の蛇口を閉め忘れて水浸しになった。自宅、隣室、下の部屋の天井を水損。	47万円
103	借家人賠償責任	寮内の自室の洗面台の蛇口を閉め忘れ漏水。自室及び真下の部屋が水浸しとなり、部屋の電灯も配線をショートさせ損傷。	37万円

インバウンド付帯学総の事故について

表データ

p.33

【保険金種別の割合】



他の事例はp.53～
No.1～41参照

- ✓ 学研災本体でカバーされない病気治療の補償が最も多い

病気の事例はp.53
No.10～19参照

- ✓ 賠償事故は支払件数ベースでは1割に満たないが、保険金額ベースでは4割を超え、このうち自転車事故と宿舍の水回り事故が大半を占める

賠償事故の事例はp.53
No.20～29,35～39参照

- ✓ 外国人留学生に対しては**救援者費用の補償**も重要

救援者費用の事例はp.54
No.30～34参照

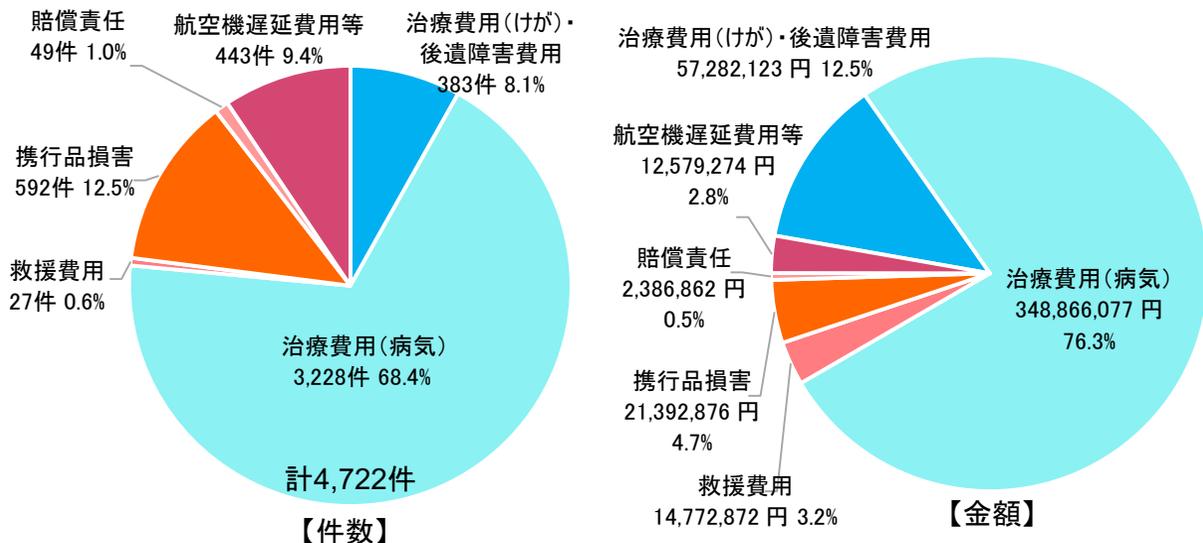
NO	保険金種別	事故内容	支払保険金
3	治療費用(けが)	自室で料理中に片腕、両足を火傷。入院14日。	8万円
13	治療費用(病気)	虫垂炎となり、入院14日通院5日。	11万円
20	対人賠償	前の自転車を追いつき、前方から来た自転車と接触し、相手にけがを負わせた。	51万円
28	対物賠償	交差点で車のミラーに自身の腕が当たり破損。	29万円
31	救援者費用	体調不良を訴え救急搬送され、脳幹梗塞の診断を受け入院。ネパールからの親族の駆けつけ費用等を支払。(本人の治療費用も別途25万円支払)	25万円
36	借家人賠償責任	共同生活している部屋の排水管を油詰まりさせ漏水、隣室と階下の天井や床を濡損した。	17万円
41	生活用動産	自宅に停めていた自転車を、夜間に盗まれた。	3万円

付帯海学の事故について

表データ

p.34

【保険金種別の割合】



✓ 海外留学先での医療費は極めて高額になるケースも多い。付帯海学では海外留学中の精神疾患の治療費も補償

病気・けがの事例はp.55 No.1~27参照

✓ 下宿先での設備破損による賠償責任事故も発生

賠償事故の事例はp.56 No.33~37参照

他の事例はp.55~ No.1~40参照

NO	保険金種別	事故内容	支払保険金
1	治療・救援費用(病気)	敗血症で入院。(カナダ)	1,429万円
7	治療・救援費用(病気)	うつ病と診断され治療を受け、日本へ帰国手配。(ドイツ)	394万円
17	治療・救援費用(けが)	電動バイクで転倒し鎖骨骨折。(中国)	357万円
32	携行品損害	路面電車を待っている際、スーツケースの上に置いていた鞆を盗まれた。(イタリア)	19万円
33	賠償責任	学生寮で部屋のスプリンクラーを誤作動させ、下の階や隣室に浸水した。(豪州)	65万円

個別相談会



東京海上日動火災（株）

- 事故について(事故時の対応、補償可否、保険金請求)
- 付帯学総・インバウンド付帯学総・付帯海学の導入、事務手続き
- SkettBook

等のご質問・ご相談はこちらに



(公財) 日本国際教育支援協会

- 制度について
- 学研災・付帯賠償の加入及び異動事務手続き

等のご質問・ご相談はこちらに



ご質問のある方は受付でお配りした個別相談記入用紙にご記入の上、上記担当の列にお並びください。時間の都合上、お並びいただいた方全ての質問にお答えできない場合がございますので予めご了承ください。

個別相談会



(公財) 日本国際教育支援協会

- 制度について
- 学研災・付帯賠償の
加入及び異動事務手続き

等のご質問・ご相談はこちらに

東京海上日動火災（株）

- 事故について(事故時の対応、補償可否、
保険金請求)
- 付帯学総・インバウンド付帯学総・付帯海学
の導入、事務手続き
- SkettBook

等のご質問・ご相談はこちらに



ご質問のある方は受付でお配りした個別相談記入用紙にご記入の上、上記担当の列にお並びください。時間の都合上、お並びいただいた方全ての質問にお答えできない場合がございますので予めご了承ください。